



発行日 令和5年3月発行 第109号

発行元 社会医療法人 昂和会 内山病院 編集委員会

連絡先 鹿児島県阿久根市高松町2番地

TEL:0996-73-1551

FAX:0996-73-4636

Homepage <http://www.uchimt.com/>

E-mail uchimt@uchimt.com



巻頭言・・・P1

診療一口メモ・・・P2

部署紹介・・・P2

行事紹介・・・P3

委員会活動・・・P3

編集後記・・・P4

巻 頭 言

阿久根訪問看護ステーション

原田 亜祐美



看護の基礎を築いたナイチンゲールの生誕から2世紀、希望と夢をもった多くの新卒看護師が活躍されるでしょう2023年の新しい年が始まりました。昨年度は、COVID-19の世界的な流行により、感染症に対する新たな認識をもたらす年となりましたことはご承知の上かと思います。コロナ禍の中の一方で、少子高齢化も進んでいく日本においては、要介護者の増加に伴い、訪問診療を利用する患者は更に増加しております。寝たきり患者の医療機関への受診は家族にとって、とてつもない負担を生じていることは事実であり、当院においても訪問診療を希望される患者が多い状況にあります。古郷理事長も外来診療、病棟や施設、訪問看護の対応までと、とても多忙でありながらも訪問診療を行って下さっております。在宅で待っておられる患者やその家族の方々も皆と

ても感謝されており、在宅看取りまでを行う私たち職員は日々救われている事を共感しております。訪問看護ステーションの管理者に配置され十数年、サービス内容も多岐に渡る訪問看護について悩まされることもありましたが、小船井看護部長の知識と知恵を借りながら、利用者のニーズに沿った事業発展につなげていくことができたと思います。「在宅生活を望む利用者への看護の心を忘れずに支えていきたい」、職員と共に今年も宜しく願い申し上げます。



診療一口メモ

内科 濱田 平一郎

よく立ちくらみが起きやすい、とか動悸が出やすいなどで貧血では、と受診される方がいらっしゃいますが、立ちくらみに関しては起立性低血圧症と言ってしゃがんだ状態から急に立ち上がるなどの体位の変更に、通常であれば足の血管（動静脈）が収縮して脳の血流（脳循環）が保たれるようする働きが弱くなってしまい、頭部の血圧が保てなくなり、いわゆる”脳貧血”の状態をきたして症状が出る場合があります。ふらつき、めまいのほか、目の前が霞むようになる（霧視）ことや、転倒（外傷のもと）や失神、場合によっては全身痙攣をきたすこともあり、注意が必要です。血圧調節の異常によるものですが、原因としては急性のものでは下血などの循環血液量の減少によるもの、長期臥床の後、また副腎の機能不全（ホルモンの異常によるもの）が、慢性のものでは薬物（血圧のお薬：特に血管を拡張して血圧を下げる働きのもの）、自律神経機能異常（不眠や生活リズムの乱れもきっかけになります）、加齢による血圧調節の変化などもあり一概には言えません。食後も消化管の血流増加により同様の症状をきたすことがありますし（これは飲酒によりさらに増悪）、心臓弁膜症や不整脈など循環器系の疾患のほか、中枢性など他の疾患から出てくることがありますので、採血検査での貧血の確認だけではなく、心電図や胸のレントゲンなども含め、いろんな検査で確認する必要があります。

部 署 紹 介

2 病棟

病棟師長 春野 亜紀



2 病棟は、医療療養型病床で定床 48 床、透析・内科・神経内科・リハビリ科の患者が入院中であり慢性腎不全による透析導入患者が半数を占めています。脳梗塞後遺症などによる寝たきり患者が半数。一部介助が必要な患者が 4 割。9 割近くは介助が必要な状態で、高齢化が加速し患者の平均年齢も 80 歳を超えている状態です。認知症を伴う患者も年々増加し働き手不足の現在どの様に業務を実施していくか日々悩んでいる状況です。

この様に患者層も厚く、患者及び家族に満足して頂けるように患者中心の看護を推進し、限られた看護要員と物的時間制約の中で、個々の患者の特殊性を重視しながらよりよい看護を継続して提供するために他部署の協力を得ながら業務を実施しています。部屋受け持ち制で、看護職と介護職それぞれ日勤が 4 名～5 名。夜勤は看護職 2 名、介護職 1 名で対応していますがその日の業務を行う事で手一杯でなかなか満足のいく

看護ができていないのが現状で今後の課題でもあります。今後もスタッフと協力し合い働きやすい部署を目指していきたいと思っております。

行事紹介

お正月料理

管理栄養士 松田 理香

元旦は少しでもお正月気分を味わってほしいとの思いから、お昼に毎年おせち弁当を提供させていただいています。入院患者さんにとって食事は楽しみのひとつですので、できるだけおいしく食べていただけるよう、彩りよいお弁当に仕上げました。



委員会活動

患者サービス委員会

委員長 中尾敬子

当委員会は患者様や地域の安心感、信頼感を得られるように接遇対応の向上を図る事を目的として活動しています。

- ・清潔第1を意識しての各部署内での身だしなみチェック及び各部署へのラウンドの実施。
- ・投書箱の設置、定期的満足度調査の実施を行い、患者様への対応の在り方・環境面での見直しなど再訪したくなる病院になるように努めています。

新型コロナウイルス蔓延によるマスク着用により、お互いの表情も伝わりにくく、ソーシャルディスタンスなどコミュニケーションの希薄化になっている現状の中、変化への対応として、一言プラスでの感情表現・相手の気持ちを払拭く傾聴の姿勢・言葉づかいなどを大事に、心地良い医療サービスを提供して行きたいと思っています。



個人情報保護法により、早蔵掲載の写真及び名前については本人の同意を得ています。

基本理念

- 1 質の高い思いやりのある医療福祉の実現
- 2 地域に必要とされる医療福祉施設に育成・発展させる

基本方針

- 1 患者の立場に立った高齢者医療介護福祉施設の充実に積極的に寄与する
- 2 プライマリーケアを実践する中で、今までの実績の更なる積み重ねと時代の求めに応じた拡大を目指す
- 3 人材の育成
- 4 経営の安定化・事業の展開
- 5 品質管理（危機管理・安全管理・利用者の満足度向上）

患者の権利

- 1 患者様は、「平等で良質な医療を受ける権利」があります。
- 2 患者様は、「選択と自己決定の権利」があります。
- 3 患者様は、「個人の秘密保持・情報に関する権利」があります。
- 4 患者様は、「尊厳性の権利」があります。
- 5 患者様は、「安全が確保される権利」があります。

患者様の義務

- 1 患者様は、ご自身の健康に関する情報を提供する義務があります。
- 2 患者様は、病院のルールを守り、医療に参加する義務があります。
- 3 患者様は、他の患者様の医療を妨害しない義務があります。
- 4 患者様は、医療費を支払う義務があります。

編集後記

新年となり、コロナ感染症流行も継続しています。日常の有難みを、改めて実感する日々。仕事も家庭も、周囲の人々の支えがとても大きく、感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいです。今後も、感染症と共存していかなければなりません、各々が感染予防に努めましょう。

古賀聡美・七田麻衣・東畠真紀・油木 翔子